

中村設計新聞

第九十六号

十二月十八日 晴れ

十二月はクリスマスケーキのデコレーションを行いました。

おかげさまで
創立55周年

○クリスマスケーキデコレーション
クリスマスも近いということで、新型コロナウイルスの感染対策を万全に、クリスマスケーキのデコレーションをしました。一人一つずつ4号サイズのスポンジケーキにイチゴやキウイ、チョコクリームを使いデコレーションしました。各々個性豊かなクリスマスケーキができました。



○レポート
久しぶりにデコレーションしました。生クリームを綺麗に塗るのが難しかったです。完成したクリスマスケーキを見ると皆、個性的なケーキに仕上がっていました。同じ食材を使っても全く違うケーキになっていました。完成したケーキを見て、違う一面を発見できたりと楽しい時間を過ごせました。

川崎 美帆



みんな自分だけのオリジナルケーキを一生懸命作り上げることが出来ました。



○設計・監理について
旧園舎が木造建物であり、木の柔らかさや温もりを感じる環境を新園舎にも引き継ぎ、特に内部空間に木材を多く取り入れ、園児が健やかに生活する場となるよう、全体計画を行いました。また、耐震・耐火・災害等を鑑み、鉄骨造地上2階建てとし、安心で安全な建物となるよう設計しました。意匠面では外観のメインカラーは無彩色のやさしいホワイトとし、純粋さをイメージしていません。日野の境内に隣接していることを考慮し、木を境内に和風の落ち着いた外観とし、バルコニーや屋外階段の手すり部分には透明ポリカーボネードで仕上げました。



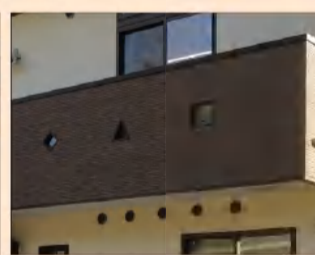
↑外観：南から北方向



↑外観：北から南方向



内観：→ 2階保育室



←内観：1階廊下

↑外観：バルコニー

○竣工物件 誕生院保育園
誕生院保育園は昭和二十四年より親鸞聖人誕生の地、日野誕生院の境内にて生かされてきた生命の目覚めとともに育ち合う「まことの保育」の理念を持って保育活動を行い、浄土真宗の教義に則り「心の教育」を基盤とした宗教的情操教育を実践されています。山の麓に近いため、豊かな自然に囲まれており、秋には園庭の黄色いイチョウ、すぐ近くの野誕生院境内では真っ赤な紅葉など四季の移り変わりを感ぜられる環境で園児は一年のび過ぎずに新年の始まりとともにスタートします！

○まとめ
今年も残りわずかとなりました。少しづつですが、以前のようには外に出たり、外部の方に講習にきていただいたり、できるような工夫しながら、研修を続けていきたいと思っております。今年も多くの皆様のご協力のもと、内容の濃い研修を行うことができました。来年も土曜研修・中村設計新聞をよろしくお願致します。



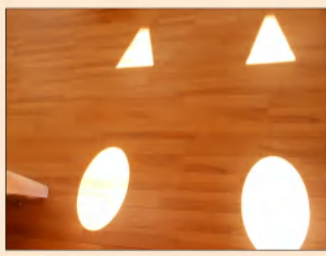
↑令和三年十二月二十三日竣工式にて感謝状、記念品をいただきました。感謝いたします。



↑内観：トイレブース



↑一階段室からは日野誕生院境内が望めます。



↑内観：何に見えますか？

ザインとするとともに、そこに園児がいなくても確認できるように安全にも配慮しました。内装は園児が楽しく、行きたくなく、保育園になるような玄関・廊下の腰壁は動きのある波と力強い柄のクロスを提案し、トイレは暗くて怖い印象にならないように扉を設けず、トイレブースは力強いように、動物柄は教室名の動物を組み合わせました。設備面ではトイレ内にもエアコンを設置し暑い日や寒い日も快適な空間となるよう工夫しました。各教室の扉は全印象になりまし。最後に竣工式にて、印象のよい見ました。保育室の扉の影からムーン？が現れました。また、園児が見ると違う動物や植物に見えたり、園児を見られると、動物や植物に見える方も園児を見られる園舎となること、利用者の方にも長く親しまれる園舎となることを願います。